



イヤホン、ヘッドホンから、スピーカーへの移行に最適なブルートゥース・レシーバー

誰もが持っている「スマホ」は、普段たんなる情報端末としてお粗末な音を出しているだけにしか過ぎません。けれどそれが Bluetooth で「AI301 Special」に繋がると、立派な「オーディオプレーヤー」に大変身するのです。

AI301 Special とスマホが組み合わせると、イヤホンでは聴けなかった元気のよい楽しい音をスピーカーから体感できます。デジタルアンプならではの身体を響かせるような低音の力強さと量感、デジ

タルアンプとは思えないようなざらつきのないと明快な中高音は、このアンプならではの大きな魅力です。

イヤホンでは味わえない「身体が包み込まれるような音の広がり」も魅力的です。今まで何気なく聴いていた「音」が、とても魅力的な「音楽」に変わる。

ただの「音」を「音楽」に変えられる。「AI301 Special」は、その不思議な楽しさをあなたに教えてくれるでしょう。

AI301 Special/ AI301 Special コンプリートパッケージ

58,000円(税別)/
61,112円(税別)



主な仕様

- 最大出力 : 20W×2(8Ω)、40W×2(4Ω)1系統
- ヘッドホン出力 : 標準ジャック×1
- アナログ入力 : RCA×2
- デジタル入力 : USB、同軸(RCA)、光(TOS)×各1



KDK-OFC/2.0m

筐体色:シルバーモデルも受注生産にて承ります。コンプリートパッケージは、KDK-OFCがセットになったお買い得セットです。

- USB入力 : DSD(5.62 MHz)、PCM(192 kHz/32 bit)対応
- 電源 : 100V / AC50-60Hz
- 消費電力 : 38W
- 寸法 / 重量 : 215(W)×61(H)×254(D)mm、2.1Kg

AIRBOW のノウハウと、ハイエンド・オーディオパーツを惜しみなく投入

DAC を内蔵するプリメインアンプとしては、AIRBOW 中で一番安い AI301 Special ですが、ほぼ 30 個のパーツが最高級オーディオグレード品に交換・追加されています。AI301DA が内蔵するスイッチング電源は、過大なスイッチングノイズを発生し中高域の音を濁らせています。この問題を解決するため、平滑電源コンデンサーを強化しコンデンサーの共振により発生するノイズを大幅に低減しました。高周波特性に優れるコンデンサーを追加し、発生するノイズをその場で除去しています。電磁波として拡散するノイズに対する低減措置など、徹底したローノイズ化が行われています。これにより、中高音の滑らかさとメリハリ感が改善し、電源容量の強化による充実した低音と相まって、サイズと重量、価格を疑うような躍動的なサウンドが実現しています。信号が通過するアナログ回路、デジタル信号をアナログ信号に変換する DAC 部に使われているパーツのグレードアップを行い、AI301DA では再現出来なかった細やかな音やデリケートな表情変化の再現が実現しました。

checkpoint

◆コンプリートパッケージは、KDK-OFCがセットで、61,112円(税別)です。



あなたが知っているCDから、まだ知らない音を引き出せるCDプレーヤー

marantz 製品に使われている各モジュールの高音質化技術（カスタム技術）は共通しているので、高級機と同じ交換パーツを選べば、低価格機の音質を高級機に近づけることも不可能ではありません。

HD-CD1 にはハイレゾや DSD の再生に対応する、高性能 DAC チップ「CS4398」が搭載されています。marantz が誇る「HDAM-SA2」も採用され、これらの回路の能力を最大に引き出せば、CD ディスクからハイレゾ・DSD に近い高音質の実現が可能です。様々なテストの結果、このモデルでは低コスト化で損なわれていた「クロック発振品質の改善が鍵になること」がわかりました。クロックの改良により HD-CD1 Special の高域の伸びやかさと

解像度は一気に向上し、20-30 万円を超える高級機に負けない「細やかさ」・「艶やかさ」・「透明感の高さ」が実現しましたが、さらにその高域に負けない中低域のエネルギー感を得るため、電源レギュレーター回路を徹底的に改良、サイズや重量からは信じられないほどの低域の力感、音場の広がり感の獲得にも成功したのです。HD-CD1 Special では、ハイレゾ・DSD のようにきめ細かく伸びやかな音質と、「パソコンでは味わえない」透明感の高さと、圧倒的なハーモニーの美しさが実現します。HD-CD1 Special で「高音質ディスク」をお聴きになれば、CD には、「まだこれだけの情報が入っていたのか!」ときっと驚かれるに違いありません。

HD-CD1 Special

115,741円(税別)



KDK-OFC/2.0m

KDK-OFCがセットになったコンプリートパッケージのみの販売となります。

主な仕様

- 再生可能ディスク： 一般音楽CD、CD-R/RW
- アナログ出力： RCA×1、ヘッドホン×1
- デジタル出力： 光(TOS)/RCA×各1
- デジタル入力： なし

- 外形寸法： なし
- 電源： 100V / AC50-60Hz
- 消費電力： 14W(待機時0.3W)
- 質量： 5.7Kg

ハイレゾに負けない音質を目指しました

10 万円を切る CD6006 Live には「USB 入力」が備わり、CD しか聴けない HD-CD1 Special は、そのままでは「ただの小型の CD プレーヤー」になってしまいます。それでは面白くないので HD-CD1 Special は、現在の先端高音質「ハイレゾ」や「DSD」に迫り、あるいはそれを超える「高音質」を実現する CD プレーヤーを目指し、異例の長時間に及ぶ開発を実施しました。その甲斐あって、AIRBOW CD 専用機にふさわしい圧倒的な高音質に仕上がると共に、新しいカスタム技術も見いだせたのです。

お薦めオーディオボード



WFB-0190-1

【数量限定在庫限り特価品】
販売価格 32,408円(1枚・税別)

オリジナルDSPを搭載するSA10の潜在能力が解放されたとき、世界が変わる

CDプレーヤーの音質の要は「CD読み取りメカニズム」と「DAコンバーター(DAC)」です。しかし、「オリジナルメカニズム」を搭載する製品は見られても「オリジナルDAC」を搭載するモデルはほとんどありませんでした。それは、社外品のDACチップと比べるとオリジナルDACは「遙かにコストがかかる」からです。けれどmarantzはフラッグシップモデルにふさわしい音質を実現するため、SA10に「marantzオリジナルDAC」を搭載しました。オリジナルDACと市販DACチップのもっとも大きな違いは「大きさ」です。せいぜい数平方cmのサイズしかない市販DACに比べ、marantzオリジナルDACはその数十倍の大きさを持ちます。もちろんPCのような高速デジタル処理のためには小さいデジタル回路

が有利ですが、オーディオのデコーディングのような低速のデジタル処理ではチップのサイズはそれほど重要ではありません。オーディオ用高音質DACで重要なのは「アナログ回路により多くの電流を流すこと」です。パーツのサイズが大きくなりより多くの電流が流せるようになると「アナログ変換後の信号伝達のS/N比が大幅にアップ」するため、微小信号の分解能力が向上します。また、低音の量感や力感の再現にも有利です。

このフラッグシップのカスタムモデル「AIRBOW SA10 Ultimate」は、100個以上のパーツを最高グレード品に惜しみなく変更することで、SA10が持っている素晴らしい潜在能力を解放することに成功したのです。

SA10 Ultimate 主な仕様

- アナログ出力：RCA(アンバランス)、XLR(バランス)×各1
- デジタル出力：RCA、同軸出力/TOSリンク出力×各1
- デジタル入力：RCA同軸/TOSリンク×各1(192kHz/24bit)、USB/TYPER-B(リア、382kHz/32bit、DSD11.2MHz)
- 対応ディスク：CD/SACD、データCD/DVD再生対応
- 消費電力：50W(待機電力0.3W以下)
- 寸法/重量：440(W)×127(H)×419(D)mm/18.4kg



SA10 Ultimate

780,000円(税別)

PM10 Ultimate

780,000円(税別)



PM10 Ultimate 主な仕様

- 定格出力：200W×2(8Ω)、400W×2(4Ω)
- 周波数特性：5-50kHz(±3dB)
- 入力：PHONE(MM/MC)×1、XLR×2、RCA×3TAPE入出力×1、プリアウト×1、パワーダイレクト入力×1
- 消費電力：無信号時40W、最大出力時270W、待機時0.3W
- 寸法/重量：440(W)×168(H)×453(D)mm / 21.5kg

アナログプリアンプとスイッチングパワーアンプの組み合わせから出る音がすごい

marantz PM10は、この理想の組み合わせにきわめて近い構成で設計されています。プリアンプには、入力される信号を整えて適度な響きと潤いを与えることができる、伝統の「HDAM-SA3/フルバランスプリアンプ回路」が搭載されています。ディスクリートで構成されるこの回路は、オペアンプ(IC)よりも大きな電流を流せるので、信号伝達時のエネルギーロスがほとんどなく、しっとり滑らかな音質と休符が見えるほどの静けさを実現します。

PM10は、この高音質回路をフルバランス・モノラルの贅沢

な構成でプリ部に搭載し、パワー部には、最新の「スイッチングアンプ(Dクラス・パワーアンプ)」を、各チャンネルの土回路にそれぞれ1台、左右合計で4台搭載することで、定格出力400W(4Ω)のフルバランスBTL回路を構成します。デジタル出力素子を使ったことで小型軽量に仕上がっていますが、PM10はワンボディーにセパレートアンプを収納した、スーパー・プリメインアンプなのです。AIRBOW PM10 Ultimateは、marantzカスタムモデル開発ノウハウの粋を投入しPM10を徹底的に練り上げて完成した、セパレートアンプを超えるアルティメット・プリメインアンプです。

100万円超クラスのCDトランスポーターを凌ぐ情報量を実現!



CD からレコードのように柔らかで芳醇な音質を引き出した前モデル TL3 Analogue ですが TL3 3.0 Analogue は回路変更され、同様の音質が実現できないことがわかりました。そこで今回は、解像度と明瞭度を限界まで向上させながら、ベルト・ドライブらしい滑らかさと艶やかさを融合する音作りにチャレンジしました。TL3 3.0 Analogue を TL3 Analogue と比較すると、まず低域の力感と伸びやかさの違いにお気づきになるでしょう。TL3 Analogue の低域は響きが豊かでふわりと広がりますが、TL3 3.0 Analogue の低域はよどみなく太く、まっすぐに出てきます。重心が低くしっかりしたこの低域の再現は、VRDS メカニズムを搭載する Esoteric の高級モデルに拮抗します。明瞭度が高く芯がしっかりした高域は、TL3 Analogue より艶は少ないですが、透明度に

優れ、ダイレクト・ドライブ・プレーヤーでは再現出来ない帯域まで倍音が素直に伸びます。濁りがなく透明な中域は、音の粒子の細やかさが大きく向上し、密度の高い圧倒的な「濃さ」を実現しました。TL3 3.0 Analogue 音の立ち上がりが早く、これまでベルト・ドライブ・プレーヤーが苦手としていた、ロックやフュージョンなどでも、リズムセクションが遅れることなくメロディーラインに追従し、パンチの効いた心地よいビートを奏でます。ダイレクト・ドライブ・プレーヤーと対等の物理的な音質を実現しながら、それらでは得がたい「鮮やかな楽器の色彩感」、「休符が見えるほどの無音部の静けさ」を実現する TL3 3.0 Analogue の音質は、国内メーカーが発売している 100 万円を超える CD プレーヤー、トランスポーターさえ凌駕するほどに、仕上がっています。

TL3 3.0 Analogue

330,000円(税別)



主な仕様

- 再生可能ディスク : 一般音楽CD、CD-R/RW
- 電源 : 100V / AC50-60Hz
- デジタル出力 : 光(TOS)×1、RCA×1、XLR(AES/EBU)×1
- 消費電力 : 21W
- Super Link×1
- 外形寸法 : W435mm×H111mm×D335mm(突起含む)
- ワードシンク入力 : 同軸×1、光×1
- 質量 : 11Kg

TL3 3.0 Analogueのデジタル(Super Linkを除く)出力は、「44.1/88.2/176.4 kHz」の3通りの周波数が選べます。周波数が高くなると、解像度と明瞭度が向上しますが、響きや艶が少なくなり、ダイレクト・ドライブ・プレーヤーの音質に近づきます。後述する、専用スタビライザー STB-1のベルトでも、3通りに音が替えられるので、デジタル出力(Super Linkを除く)では、合計9通りの音質が選べます。

CECオリジナル規格の「Super Link」が使える、AIRBOW DA3 Analogueとの接続では、出力周波数は「44.1 kHz」に固定されますが、他のデジタル接続と比べて明瞭度・解像度に優れ、DA3 AnalogueからTL3 Analogueとの組み合わせとは全然違う、ハッキリした音が出ることに驚かれると思います。脚には、好評発売中の真鍮削り出しSwitch Legを採用し、ベルト・ドライブ・プレーヤーの音質の要となるスタビライザーには、AIRBOW「STB-1」を付属しました。

お薦めオーディオボード



WFB-0190-2

販売価格 36,112円(税別)